

## 西高モデル（感染拡大防止のために）

※ これは校則のように厳しく取り締まる「きまり」ではありません。自他の感染リスクを低減して少しでも早く元の学校生活に戻ることを目指す、チーム西高の取組の具体例です。御協力ください。

- 毎朝家で健康状態を把握し、体温を測って記録する。
- 自身または家族が体調の悪い日は登校せず学校に連絡する（欠席扱いにならない）。校内で体調が悪くなったらすぐに保健室へ申し出て指示を受ける。
- 登校したら校内に入る前に昇降口で必ず手指を消毒する。
- 教室に入る前に手を洗う（休み時間に教室を出た際も同様）。手洗い場が込み合っているなどで洗えない場合は消毒液を使用する。
- 用のないフロアや教室等には立ち入らない。
- 廊下や階段は左側通行として他者との接触を避ける。
- 原則として常時マスクを着用する（マスクを忘れた者は教室へ入る前に保健室へ申し出る）。マスクを外す必要がある時は、他者と向き合ったり接触したりしないよう気を付ける。
- 他者と向き合うときは、1 m以上（互いに腕を伸ばして触れ合わない程度）の距離を保つ。
- 原則として教室の窓とドアは常に全開とする（エアコン使用時含む）。寒さや暑さでやむを得ず閉める場合にも、天窓や対角線上の窓とドア各1か所を開けるなど換気に努める。
- 多くの人に触れるドア取手部分や共用物品などはまめに消毒する。
- 食事の際は他者と向き合わず、できるだけ離れて会話も控える。食事をしている者の近くにいる場合も同様（当面は校内での食事を禁止する。ただし、こまめな水分補給は行うこと）。